

御挨拶

私共、盛岡信用金庫は本日1月19日をもって、創立123周年を迎えることができました。その記念事業の一環として、本日、更生保護法人岩手保護院様に寄付金を贈呈させていただきます。

顧みますと、当金庫は明治36年1月19日に盛岡信用組合として創立いたしました。初代組合長を高橋伊兵衛とし、共存同榮の精神のもと、一貫して基本理念であります「地域社会の発展と豊かな暮らしづくりを目指して」を心に刻み、歩んでまいりました。

岩手保護院様とのご縁は、大正3年、私共の初代組合長、高橋伊兵衛が岩手保護院様の理事と会計に就任したことに始まり、大正8年に移転をされる際は、現在の下ノ橋町の土地を高橋伊兵衛が提供をしております。

また、当金庫2代目組合長の赤沢亦吉も大正5年から昭和23年まで理事を務めておりました。

この度、岩手保護院様が施設を全面改築するとの報に接し、当金庫の先人の思いを承継することによって、暮らしやすい社会の形成に少しでも寄与したいと考えております。

「罪を憎んで人を憎まず」という言葉がありますが、罪を犯した人達を社会から切り離すのではなく、誤りを正し、更生しようとする姿勢を後押しする社会でなければなりません。

更生保護法人岩手保護院様は、明治34年に創立後、明治36年に開院され、100年以上に亘り、その使命を果たされて参りました。

そのご功績に、心より敬意を表する次第であります。

今後は両組織で力を合わせ、全ての人にとって明るく住み良い、安全安心な街づくりに努めて参りますことをお誓い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

令和8年1月19日

盛岡信用金庫理事長 浅沼晃